# 講師について

こうさき　わかな
## 幸崎 若菜 氏

出張専門助産所 ひらく 代表

看護師・保健師・助産師・日本版性暴力対応看護師（SANE-J）・思春期保健相談士・
性教育認定講師などの資格を持つ

### 【プロフィール】

高知県出身。岡山大学卒業後、東京都内の病院勤務を経て、2005年8月からまつしま病院に勤務し、予期せぬ妊娠やＤＶ・性暴力被害を受けた女性への対応など、困難な状況に置かれた女性や子ども・家族の支援を行ってきた。2011年からは、日本家族計画協会で思春期の子どもの性の悩みや低用量ピル・緊急避妊の相談に従事。2018年から2年間地元高知で大学教員として看護師・助産師教育に携わり、2020年にまつしま病院に復帰。2024年4月にスウェーデンのユースクリニックを参考に、まつしま病院隣接地に子ども・若者のための街の保健室「ユースウエルネス KuKuNa」を開設し、室長として子ども若者支援を行う。2025年4月には、フィンランドのネウボラ(出生から就学前までの)切れ目のない母子保健)を、9月にはスウェーデン・デンマークのユースクリニック視察とオランダの包括的性教育について研修。2026年4月からは出張専門助産所 ひらく を開所し、所長として母子保健や若者支援、包括的性教育の重要性や知識普及のために全国各地で講演活動を行っている。

### 【講演内容】

- 自分を守る心と体の境界線(バウンダリー)とは
- 心地よいコミュニケーションに必要な「同意」と「尊重」について
- 母子保健の取り組みや性教育・ジェンダー平等が進んでいる北欧の国々の視察事例から、子どもの権利や働く人の権利について
- 「なぜそれらの国の人々の幸福度が高いのか」を考え、社会全体の健康問題として提示